



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月27日  
上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社  
コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 数原 滋彦  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215  
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 2023年9月6日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	36,240	7.0	5,658	21.1	6,538	17.4	4,436	13.5
2022年12月期第2四半期	33,881	10.7	4,672	13.4	5,570	18.7	3,908	20.8

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 8,186百万円 (26.5%) 2022年12月期第2四半期 6,469百万円 (35.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	81.39	—
2022年12月期第2四半期	70.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	138,017	111,221	79.1	2,008.21
2022年12月期	130,801	105,002	78.8	1,874.99

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 109,131百万円 2022年12月期 103,088百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	16.50	—	18.50	35.00
2023年12月期	—	18.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	2.2	9,500	2.8	10,400	2.7	7,100	2.1	130.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	63,286,292株	2022年12月期	63,286,292株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	8,943,524株	2022年12月期	8,305,522株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	54,515,311株	2022年12月期2Q	55,530,136株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年1月1日から2023年6月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う様々な規制が解除されたことで、訪日外国人の増加やサービス産業を中心とした個人消費の緩やかな回復により、経済活動にも改善の基調がみえてきました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の展開やそれに伴う資源価格の高騰といった不確実性が高いリスクに加え、欧米を中心とした金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れ懸念や世界的なインフレは依然として継続しており、先行き不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く外部環境といたしましては、国内外を問わず、ビジネスにおける様々な局面で業務の効率化が進み、またデジタル化の進展によって筆記具から代替されたものも多く、さらに新型コロナウイルスの感染拡大によってこの流れに勢いがついたことで厳しい状況が続いております。国内市場においては、新型コロナウイルス感染症にかかる制限が緩和されたことで、インバウンド需要の回復やイベント等の開催が増え、明るい兆しも見え始めつつあるものの、インターネットを通じた流通やSNSの普及によりお客様の消費行動は大きく変化の局面を迎えております。海外市場に目を転じると、環境保全に向けた取り組みといったサステナビリティへの関心の高まりをはじめとするニーズの多様化がより一層進みつつあります。こういった外部環境の変化に対応し、お客様の求める価値を具現化し続けていかなければ、生き残っていくことが難しい状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループは、「書く、描く」を通じた“表現体験そのもの”を創造することで、すべての人が生まれながらにして持つ個性や才能といった「ユニーク」を表現する機会を創り出すことが、お客様への提供価値ととらえ、「違いが、美しい。」というコーポレートブランドコンセプト（企業理念）に基づき、活動してまいりました。“ノート、くっきりキマる。”ゲルインクボールペン「uni-ball one（ユニボール ワン）」シリーズから、心落ち着くふんわりとしたニュアンスカラーで上品で洗練された和の世界観を表現した「ユニボール ワン 和テイストカラー」「ユニボール ワン 和テイストカラー3色セット（はんなりづつみ／みやびづつみ）」、「クセになる、なめらかな書き味。」のジェットストリームシリーズにおいては自転車ブランド「tokyobike」とコラボした「tokyobike+JETSTREAM」を発売いたしました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は36,240百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は5,658百万円（前年同期比21.1%増）、経常利益は6,538百万円（前年同期比17.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,436百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

セグメント別の業績を概観いたしますと、筆記具及び筆記具周辺商品事業におきましては、国内市場での個人消費の緩やかな回復や欧米を中心に需要が底堅く推移したことにより、外部顧客への売上高は35,104百万円（前年同期比7.2%増）となりました。粘着テープ事業、手工芸品事業といったその他の事業におきましては、事業を取り巻く市場環境は依然として厳しいものの、外部顧客への売上高は1,135百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は、主に現金及び預金や投資有価証券が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて7,216百万円増加し138,017百万円となりました。

負債は、主に未払法人税等や支払手形及び買掛金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて997百万円増加し26,796百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて6,218百万円増加し111,221百万円となりました。

#### キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて4,557百万円増加し51,656百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前四半期純利益6,527百万円、減価償却費1,220百万円、売上債権の減少による資金の増加1,135百万円に対し、法人税等の支払額による資金の減少1,204百万円により、合計で7,296百万円（前年同期比2,446百万円の収入の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、主に固定資産の取得による支出956百万円、定期預金の預入による支出797百万円に対し、投資有価証券の償還による収入600百万円により、合計で1,270百万円（前年同期比27百万円の支出の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、主に配当金の支払額1,009百万円、自己株式の取得による支出925百万円により、合計で2,373百万円（前年同期比120百万円の支出の増加）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,074	53,272
受取手形及び売掛金	16,309	15,736
棚卸資産	20,354	20,645
その他	1,916	2,032
貸倒引当金	△281	△287
流動資産合計	86,373	91,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,481	14,294
その他（純額）	9,498	9,359
有形固定資産合計	23,980	23,653
無形固定資産	1,224	1,179
投資その他の資産		
投資有価証券	16,497	18,963
その他	4,006	4,214
貸倒引当金	△1,281	△1,393
投資その他の資産合計	19,222	21,784
固定資産合計	44,427	46,617
資産合計	130,801	138,017

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,070	8,356
短期借入金	1,516	1,514
未払法人税等	1,207	1,940
賞与引当金	612	563
その他	5,924	5,682
流動負債合計	17,330	18,058
固定負債		
長期借入金	2,577	2,217
退職給付に係る負債	3,312	3,185
役員退職慰労引当金	92	56
その他	2,484	3,277
固定負債合計	8,467	8,737
負債合計	25,798	26,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,964	3,978
利益剰余金	91,838	95,262
自己株式	△7,104	△8,004
株主資本合計	93,195	95,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,205	8,253
為替換算調整勘定	3,197	4,692
退職給付に係る調整累計額	488	451
その他の包括利益累計額合計	9,892	13,397
非支配株主持分	1,914	2,089
純資産合計	105,002	111,221
負債純資産合計	130,801	138,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	33,881	36,240
売上原価	17,346	18,033
売上総利益	16,535	18,206
販売費及び一般管理費	11,862	12,548
営業利益	4,672	5,658
営業外収益		
受取利息	12	27
受取配当金	182	201
受取地代家賃	33	27
受取保険金	9	14
為替差益	677	593
その他	25	84
営業外収益合計	941	949
営業外費用		
支払利息	13	11
シンジケートローン手数料	19	17
投資事業組合管理費	—	31
その他	9	9
営業外費用合計	42	69
経常利益	5,570	6,538
特別利益		
固定資産売却益	68	6
投資有価証券売却益	—	2
関係会社清算益	33	—
特別利益合計	102	8
特別損失		
固定資産除売却損	5	19
特別損失合計	5	19
税金等調整前四半期純利益	5,667	6,527
法人税等	1,668	1,911
四半期純利益	3,999	4,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	178
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,908	4,436

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,999	4,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	358	2,047
為替換算調整勘定	2,142	1,560
退職給付に係る調整額	△31	△37
その他の包括利益合計	2,469	3,570
四半期包括利益	6,469	8,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,273	7,941
非支配株主に係る四半期包括利益	196	244

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,667	6,527
減価償却費	1,266	1,220
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△51	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△125	△78
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	60	△175
受取利息及び受取配当金	△195	△228
支払利息	13	11
為替差損益 (△は益)	△616	△525
固定資産除売却損益 (△は益)	△63	13
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	574	1,135
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△657	557
仕入債務の増減額 (△は減少)	41	255
未収消費税等の増減額 (△は増加)	799	499
その他	△168	△924
小計	6,545	8,283
利息及び配当金の受取額	194	228
利息の支払額	△13	△11
法人税等の支払額	△1,877	△1,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,849	7,296
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△708	△956
固定資産の売却による収入	98	14
投資有価証券の取得による支出	△26	△68
投資有価証券の売却による収入	—	4
投資有価証券の償還による収入	99	600
定期預金の預入による支出	△795	△797
定期預金の払戻による収入	57	232
その他	△24	△299
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,298	△1,270
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8	△4
長期借入金の返済による支出	△360	△360
自己株式の取得による支出	△882	△925
配当金の支払額	△890	△1,009
非支配株主への配当金の支払額	△106	△68
その他	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,253	△2,373
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,064	906
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,362	4,557
現金及び現金同等物の期首残高	44,498	47,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,861	51,656

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	32,747	1,134	33,881	—	33,881
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	12	13	△13	—
計	32,748	1,146	33,894	△13	33,881
セグメント利益	4,626	33	4,660	11	4,672

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	35,104	1,135	36,240	—	36,240
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	10	10	△10	—
計	35,104	1,146	36,251	△10	36,240
セグメント利益	5,580	63	5,643	15	5,658

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。